

**民意無視して「木造復元」に突っ走る河村市政**

**NO！の声をパブコメに出そう！**

河村市長は、「民意は木造復元」と偽造し、市議会・メディア、文化庁まで押し切るつもりか？

子孫に借金のおツケを残すな。未来の福祉・教育予算を守れ！

「市民の宝を壊さないで！」名古屋城の嘆きが聞こえますか？

**締め切りせまる 2/15(木)**

かんたんに出せます ひと言でも何でも

**郵便・FAX・メール・怒りの手渡し(笑)**

**<私のパブコメ>**

**「木造復元」へ暴走、市民の声を聞かないつもり？**

たしか名古屋は「民主主義発祥の地」でしたね。市民向け説明会などで、市民から「木造復元」に対する反対や疑問が出たなら、市の回答と一緒に市民に知らせ、市民がより良い結論を出せるようにするのは当然ですね。

1月に市内5区(16区中)で開催された説明会の意見の9割が「木造復元」に対する反対や疑問でした。寒い夜、遠来の方もいました。ところが、広報なごや2月号「名古屋城天守閣、木造復元進行中」には、それらの貴重な意見は全く記載されていません。なぜですか。パブコメの時期こそ、市民に賛否両論を知らせるべきではありませんか。

**もう一度、市民向け説明会16区とパブコメをやるべし**

竹中の基本設計の期限は2月末、それまでにエレベーターの結論は出ず、資金計画も不明、市原案ができていない。これで「名古屋城天守閣、木造復元進行中」ですか。ボロボロですよ。市原案が明確になってから、今度こそ16区すべてで市民向け説明会を開き、しっかり市民の声を聞いて下さい。それを受けてパブコメを実施し、市議会で検討する。当たり前の事ですよ！！

## 「木造復元」505億円、そんなお金がどこにある？！

現代ハイテク木造建築と言うべき「木造復元」案は費用505億円、巨額である。採算を心配する市民に対し、「入場料でまかなえる。税金投入はない」と市当局は「ウソ」を言う。「年間360万人の入場者数が50年続けば」。少しでも事情を知る者からは、信じがたい予測である。過去最高の入場者数は、グランドオープン時の姫路城、年間287万人、それでも混雑は大変なものだった。私も行ったから実感できる。翌年は3/4に減少した。過大な需要予測から財政破綻した例は多い。今でさえ、公立保育所や図書館や福祉教育を削っている名古屋市政、財政悪化によってひどくなるのは明らかだ。耐震補強は29億円でできる。名古屋市役所、愛知県庁、大阪城で試され済みだ。2006年の全体整備計画に基づいて、着実に名古屋城の保存整備を進めれば良い（文化庁も認めている）。ずさんな資金計画による天守木造復元＝「保存活用計画（案）」には反対である。

## 「史実に忠実に復元」それはウソ、不可能です

名古屋城天守を「史実に忠実に木造復元」したとしても、それはレプリカである。同時に、木造復元＝展望台付き6階建て木造建築は、建築基準法・消防法・バリアフリー法等に反する違法建築である。だから、ゼネコン公募要項で名古屋市は、エレベーター・避難階段・トイレ・換気・消防施設などの要求をし、それに応えた竹中工務店と契約を結んだはずだ。しかし、配慮をすればするほど「史実に忠実」から遠ざかる現代ハイテク木造建築であり、それでも火事・地震に弱い。費用は505億円、後世に巨大な借金のツケを残す。

天守木造復元＝「保存活用計画（案）」には反対である。

## 「名古屋市民の宝」現天守閣を壊すな！

鉄筋コンクリート造の現天守には、「二度と焼けない名古屋城を」という市民の思いが込められている。また、昭和実測図に基づく外観復元の価値は、文化庁も認めている。耐震補強は29億円でできる。名古屋市役所、愛知県庁、大阪城で試され済みである。博物館もリニューアルする。2006年の全体整備計画に基づいて、着実に名古屋城の保存整備を進めれば良い（文化庁もそれを認めているはず）。平成の大改修の際、最上階まで上がれるエレベーターを設置した大阪城では、車いすの利用者が年間20～30人から3000人に増加したそう。みんなが利用でき愛される名古屋城にしよう。

現天守閣を壊す理由はない。「保存活用計画（案）」には反対である。